

ごみ減量・リサイクルの取り組みについて

1. 今年度の取り組みの視点

- ・ 「若年層」「集合住宅居住者」「居住年数の短い者（短期居住者）」にごみに対する興味・関心を持っていただく。
 - 若者等がごみの話題に触れる機会を増やすために、これまでとは違った目新しさ・斬新さをイメージした施策展開を図る。
- ・ 焼却している家庭ごみの約 30%、事業ごみの約 20%を占める「紙類」の分別徹底を、広く、市民・事業者に対して改めて周知する。
 - 市民・事業者の環境意識に改めて働きかける合言葉を活用し、ごみ減量・分別の動きを新たなステージへ進める。

2. キャッチコピー・ロゴマーク



WAKE UP!! (Wake Up!!) 仙台
～めざめよ！ごみ分別都市～

- ・ 「WAKE UP (ウェイクアップ)」と「ワケアッ」という2つの読み方をするこで、本市の先駆的な環境施策を実現してきた市民・事業者の高い環境意識と、さらなるごみの分別徹底への意識を呼び覚ますために「めざめよ！」と「分別向上」の2つの意味を持たせる。
- ・ 右側のロゴマークは、「めざめよ！」というメッセージを伝える「目」のイメージや、ごみの袋をイメージさせる中心部のマーク、さらに左右の括弧は、数学的な不等号をイメージして、分けることが何よりも重要である、といったメッセージを込めてデザイン。

3. 具体的な施策展開

今年度については、当面、以下の取り組みを予定している。

今後、「ワケアップ！仙台」という新たなキャッチコピーのもとで様々な施策の展開を図るべく、市民協働による更なる取り組みを検討していく。

(1) 若年層・集合住宅居住者・短期居住者に対する啓発

- ・ 分別指南書（資源物回収拠点マップ）
- ・ 若者を中心とした新たな3R推進ツール開発及びキャンペーン広報啓発プロジェクト
- ・ スマートフォン用ごみ分別アプリ運用
- ・ 大学・コンビニ等と連携した紙類分別推進
- ・ 集合住宅管理会社や不動産業者等と連携した、ごみ関連情報の周知広報 など

(2) 事業者の「紙類」分別の推進

- ・ 事業者向け出前講座
- ・ メールマガジンなど情報発信ツールの運用
- ・ 商店街等事業者と連携した紙類分別推進
- ・ 事業ごみ展開検査
- ・ 大規模・多量排出事業者研修会 など

(3) 広く市民に対する「紙類」分別の周知・広報

- ・ 資源とごみの分け方・出し方全戸配布（10月予定）
- ・ 各種マスメディアの効果的な活用（新聞広告、テレビ・ラジオCM、交通広告等）
- ・ 「市政だより」へのごみ減量関連記事の毎月掲載（連載コラム、特集記事等） など

(4) 地域での活動団体・個人との連携

- ・ クリーン仙台推進員との更なる連携（3R啓発DVD、イラスト等素材集、五つ星集積所診断事業、ごみ集積所排出実態調査等）
- ・ ごみ分別講座を組み込んだ施設見学バス運行（新ワケルバスの運行開始） など